

2026年4月号

 INVEST IN TURKIYE

# FDI AGENDA



## 投資・財務局からのメッセージ

3月は、トルコが世界各国のパートナーとの連携を継続していることが浮き彫りとなり、地域や分野を横断する投資、対話、戦略的協力の拠点としての地位を確固たるものにしました。一連のハイレベル会合や国際的な場では、トルコの経済関係の深さと、将来を見据えた投資アジェンダを形作る上での同国の役割の拡大がともに示されました。

イスタンブールでは、レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領も出席した世界経済フォーラムのトルコ国別戦略会議が開催され、国際的な対話が中心的な話題となりました。国際ビジネス界のトップ経営陣とトルコの経済界の指導者たちが一堂に会したこの会合では、ますます複雑化する世界情勢の中で、競争力と回復力を強化することに焦点が当てられました。

トルコはまた、5G モバイル通信インフラの稼働により、デジタル・トランスフォーメーションの取り組みにおいて新たな段階に入りました。これは、大容量の通信環境を強化し、高度なデジタルアプリケーション

を支援し、国際的なテクノロジー分野における競争力を高める戦略的な一歩となります。

今月も、国際的な活動は引き続き活発でした。投資・財務局は、ロンドンでレセプションを開催し、世界各国の著名な投資家、ビジネスリーダー、政府関係者らを招き、設立 20 周年を祝いました。この画期的なイベントは、国際的な投資家コミュニティとの関わりをさらに深めるための継続的な取り組みの一環でした。トルコは、世界有数の不動産見本市であるカンヌで開催された「MIPIM 2026」をはじめとする主要な国際イベントに積極的に参加し、「Powered by Türkiye」というメッセージのもとでその存在感を示しました。ヨーロッパ全域およびその他各国において、トルコの投資に関するメッセージは、多岐にわたる取り組みを通じて発信されました。

アムステルダムで開催された「2026 年トルコ投資会議」には、世界の金融界の主要人物が一堂に会しました。一方、ロンドンで開催された「トルコ・英国戦略的貿易・投資フォーラム」は、貿易、投資、そして AI を活用した競争力強化における二国間協力の新たな道筋を探る場となりました。

アジアとの関わりもさらに活発化しました。東京では、国際協力銀行 (JBIC) の本部で開催された「トルコ東地中海工業団地 (DAPEK)」投資セミナーにおいて、日本のビジネスリーダーや機関投資家に対し、戦略的な投資機会が紹介されました。

特定分野に特化したプラットフォームは、トルコが世界の変革の潮流と歩調を合わせていることをさらに示しました。リーズで開催された「クリーン産業成長投資サミット」では、クリーン産業への移行という文脈における資本配分について議論するため、国際的な関係者が一堂に会しました。一方、リミニで開催された「KEY - エネルギー転換エキスポ」では、再生可能エネルギー分野における機会や国境を越えた連携が注目されました。さらに、KADEM 主催の「女性のためのイノベーション・プログラム」の一環として開催された「投資エコシステム会議」では、トルコが包摂的でイノベーション主導型の成長を推進するという姿勢が改めて強調されました。

こうした主要なイベントに加え、トルコは多岐にわたる会合や取り組みを通じて、各国にわたるステークホルダーとの関わりを継続し、一貫して積極的な国際的な存在感を維持しました。

継続的な対話、戦略的な広報活動、そして国際的な場への積極的な参加を通じて、トルコは国際的な投資家にとって信頼でき、先見性のあるパートナーとしての地位をさらに強固なものにしています。投資・財務局は設立 20 周年を迎えましたが、今後もこの方向性を支え、質の高い投資を推進し、長期的かつ持続可能な成長に寄与するパートナーシップの構築に努めてまいります。



A・ブラク・ダールオウル投資・財務局長



## WEF トルコ国別戦略会議がイスタンブールで開催

レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領の主催により、世界経済フォーラム（WEF）トルコ国別戦略会議がイスタンブールで開催され、世界のビジネス界の幹部やトルコの経済界の指導者たちが一堂に会しました。

「グローバルな接点における成長：競争力とレジリエンスの強化」をテーマに開催された本会議では、世界経済におけるトルコの位置づけや、国際協力の道筋について議論されました。

本会議の一環として、エルドアン大統領が議長を務める戦略対話セッションが開催され、製造、テクノロジー、エネルギー、金融、インフラ、資産運用、医療、食品、航空などの分野を代表する 16 カ国から 23 名の国際投資家が参加しました。参加企業の総資産額は 1 兆 2000 億米ドルに上ります。このセッションは、世界経済システムにおけるトルコの役割、その投資の可能性、そして長期的な成長見通しについて議論するための包括的な場となりました。

戦略対話セッションの参加者には、ジェヴデット・ユルマズ副大統領、ハカン・フィダン外務大臣、メフメット・シムシエク財務大臣、アルパルスラン・バイラクトルエネルギー・天然資源大臣、ブルハネッティン・ドゥラン広報局長、A・ブラク・ダールオウル投資・財務局長、ファティフ・カラハン・トルコ共和国中央銀行総裁、AK 党経済担当副党首のニハット・ゼイベクチ氏、ブラックロック会長兼 CEO で世界経済フォーラム共同議長のローレンス・フィンク氏、ならびに世界経済フォーラム会長兼執行委員会委員のアロイス・ツヴィンギ氏が名を連ねました。

会議の一環として、メフメット・シムシエク財務大臣は、経済の安定とマクロ経済政策について包括的なプレゼンテーションを行い、トルコの改革アジェンダ、財政規律への取り組み、および投資環境の強化を目的とした政策の概要を説明しました。

アルパルスラン・バイラクトル大臣は、エネルギー安全保障と資源管理に関するセッションにおいて、トルコのエネルギー供給の安全保障、多様化戦略、そしてエネルギーハブとなるという同国の目標について述べました。

ハカン・フィダン大臣は、地域の安定と安全保障におけるトルコの役割、変化し続ける地経学的状況におけ

るトルコの立場、そして国際協力の強化に向けた展望に焦点を当てたセッションの司会を務めました。世界的な不確実性の高まり、地政学的な情勢の変化、そしてサプライチェーンの再編が進む中、開催される本会議は、官民間の対話と協力を促進し、投資主導型の成長を支援するとともに、トルコが「世界の結節点」としての地位をさらに強固なものにすることを目指しています。

また、議論では、トルコの競争力を高め、経済の回復力を強化し、持続可能な成長を支援し、外国直接投資を促進するための具体的な協力分野についても取り上げられました。

世界経済フォーラムのトルコ国別戦略会議は、世界経済におけるトルコの戦略的役割を強化し、多国間協力を促進し、未来に向けた共通のビジョンの構築に寄与する重要なプラットフォームとして際立っています。



## トルコが全国規模の 5G インフラを稼働

トルコは、第 5 世代 (5G) 移動通信インフラの稼働により、デジタル・トランスフォーメーションの道の中で新たな段階に入りました。これは、大容量通信の強化や、産業、公共サービス、次世代技術エコシステムにおける高度なデジタルアプリケーションの実現に向けた、戦略的なマイルストーンとなります。当初は全国 81 都市の各県都で導入されたこの次世代インフラは、2 年以内に全国へ拡大される予定であり、トルコが安全なデジタル基盤を強化し、国際的な技術分野における競争力を高める取り組みを後押しすることになります。

この移行は、レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領が出席した、大統領府で開催された「5G でつながる強きトルコ」式典において、正式に始動しました。

式典での挨拶の中で、エルドアン大統領は、5G の全国展開が、トルコの通信インフラと産業変革における新たな段階の始まりであることを強調しました。大統領は、5G がスマートセンサー、ロボットシステム、デジタル統合された生産ラインによって支えられた、リアルタイムかつデータ駆動型の生産環境を実現すると指摘し、この移行が産業エコシステム全体の生産性向上に寄与するとともに、高付加価値製造能力の拡大を後押しすることを強調しました。

エルドアン大統領はさらに、データ時代において、デジタルインフラはクラウドシステム、データセンター、人工知能 (AI) の能力、サイバーセキュリティのアーキテクチャと併せて考慮されなければならないと強調し、これらの能力を強化することが、国家のデータセキュリティを守り、トルコのデジタル主権を強化するための戦略的優先事項であると述べました。

前世代の技術に比べて最大 10 倍のデータ伝送速度、ミリ秒単位の超低遅延、そして数百万台のデバイスを同時に接続する能力を備えた 5G インフラは、組織化された工業地帯、物流ハブ、医療サービス、交通システム、スマートシティ・プラットフォームなどにおいて、先進的なアプリケーションの導入を加速させると期待されています。そのクラウドネイティブかつソフトウェア定義のアーキテクチャにより、業界固有の二

ーズに合わせた柔軟な通信環境の構築が可能となり、リアルタイム分析、インテリジェントなモビリティシステム、そして公共サービスの提供強化を支援します。

初期段階では、事業者は認証済みの国産部品を約 60%、国内で開発された通信技術を約 30%の割合で採用することが見込まれており、これらの割合は今後徐々に引き上げられる予定です。ウラロール大臣は、国内企業の積極的な参画のもとで高度な通信インフラを強化することは、安全なデータ管理能力の向上、イノベーション主導の産業変革の支援、そして大都市圏と地域の生産エコシステムの双方において、強靱な次世代接続ソリューションを展開するトルコの能力を強化するための重要な一歩であると強調しました。



## 投資・財務局、ロンドンでのレセプションで設立 20 周年を祝う

投資・財務局は、設立 20 周年を記念して、ロンドンのトルコ大使公邸にてレセプションを開催し、国際的な民間セクターの代表者、ビジネスリーダー、および政府関係者など、幅広い分野の方々をお招きしました。レセプションでは、メフメット・シムシェク財務大臣が基調講演を行い、同局の過去 20 年間の成果と、トルコにおける外国直接投資（FDI）誘致の進展について強調しました。

シムシェク大臣は、同局が設立以来、確かな成果を上げてきたことを強調し、トルコが投資環境の改善において大きな進展を遂げたことを述べるとともに、世界的に厳しい状況にあるにもかかわらず、トルコが再び世界的な人材や資本にとって重要な拠点として台頭しつつあると指摘しました。

「現在、世界は困難な時期を迎えており、中東における地政学的緊張がこの地域に暗い影を落としています。しかし、より広い視点から見れば、トルコが安定した回復力のある経済であるだけでなく、強力な生産拠点であり、活気あるサービス拠点としても際立っていることは明らかです」とシムシェク大臣は述べました。シムシェク大臣は、トルコの経済的基盤について言及し、トルコは 1 兆 6000 億米ドルの経済規模、8600 万人の人口、そして 1 人当たり所得が 1 万 8000 米ドルに迫る水準にあると指摘しました。これにより、トルコは、こうした規模と成長の可能性を兼ね備えた数少ない国の一つに数えられると述べました。

同大臣はまた、トルコの堅固なインフラを強調し、レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領の指導の下、インフラに約 3,600 億米ドルが投資されてきたと述べました。

さらに、シムシェク大臣は、同国の強力な人的資本と、大規模な産業投資を支える包括的なインセンティブ制度について言及しました。

シムシェク大臣はさらに、こうした強みにより、トルコがグローバル・バリューチェーンの上流へと進出できると述べました。

同氏は、トルコが「ミドル・コリドー」において果たす役割と、地域間の連結性に向けた継続的な投資を強

調し、最近の地政学的動向により、サプライチェーンの多様化や新たな貿易ルートの出現が加速する可能性が高いと付け加えました。

また、こうした変化がグリーン・トランスフォーメーションとデジタル・トランスフォーメーションの両方の潮流を後押しし、トルコに新たな機会をもたらすだろうと強調しました。

「我々は『ツイン・トランスフォーメーション』に注力しており、この分野では着実な進展を遂げています。防衛産業は引き続き戦略的な優先事項ですが、幅広い分野においても大きな可能性を秘めています」と大臣は付け加えました。

過去 20 年間の進展を振り返り、投資・財務局の A・ブラク・ダールオウル局長は次のように強調しました。

「2003 年以降、外国直接投資 (FDI) の総流入額は約 2,900 億米ドルに達し、進出している国際企業の数は 8 万 7,000 社を超えています。

しかし、この道のりはまだ終わっていません。世界および地域における現在の情勢を踏まえると、トルコの立場は今後も強まり続け、最終的には世界有数の経済大国へと発展していくものと確信しております」

世界の情勢が変化する中、トルコは投資、人材、イノベーションの拠点としての地位をさらに強固なものにしています。





## トルコとイタリア、23 の重点分野を掲げた戦略的 STI<sup>3</sup>パートナーシップを開始

ファティフ・カチル産業・技術大臣は、アドルフォ・ウルソ企業・メイド・イン・イタリア大臣と共に、トルコ・イタリア科学・技術・イノベーション・産業・投資 (STI<sup>3</sup>) 委員会の第 1 回会合の共同議長を務めました。

アンカラで開催された会合において、トルコが開発した STI<sup>3</sup>アプローチは、科学、技術、イノベーション、産業、投資を単一のプラットフォームに統合し、多角的な協力を制度化し、優先事項を具体的なプロジェクトへと転換する革新的なモデルであることが強調されました。また、このモデルは、研究から生産、試作から商品化、そして投資に至るまでのバリューチェーン全体を網羅していることも指摘されました。

2 日間にわたる会合の中で、各代表団は、防衛産業、宇宙、半導体、自動車産業に加え、グリーン・トランスフォーメーションやデジタル・トランスフォーメーションなど、幅広いテーマについて議論を行いました。協議の終了にあたり、共通の優先事項が正式に決定され、今後の協力の方向性を示す包括的なロードマップが署名されたことが発表されました。

また、この会合では、地中海地域の二大経済大国であるトルコとイタリアの間に深く根付いた歴史的絆が強調され、技術とイノベーションを軸に据えた両国の発展ビジョンや、戦略的分野における相互補完的な能力が、二国間の協力をさらに強化していることが示されました。最近、投資協力においては、ハイテク、付加価値の高い生産、および共同技術開発が前面に押し出されていると述べられました。

特に防衛・航空宇宙分野における最近の買収や提携は、協力関係の拡大に向けた可能性が高まっていることを示すものと見られています。

さらに、レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領とジョルジア・メローニ・イタリア首相が設定した、年間二国間貿易額 400 億米ドルの目標達成に向け、断固として取り組みを続けていくことが表明されました。

両国は、相互の信頼と共通のビジョンに基づき、トルコとイタリアが今後も地域および世界レベルで協力をさらに深め、強固なパートナーシップを築いていくという強いメッセージを発信しました。



## ボラット通商大臣、カプクレ国境での戦略的拡張を発表

オメル・ボラット通商相は、トルコ・ブルガリア国境のカプクレのすぐ北側に新たな税関ゲートを設置する計画を発表し、欧州貿易におけるその戦略的重要性を強調しました。

国際運送業者協会（UND）が主催した会合で、ボラット大臣は、この新しいゲートがカプクレ、ハムザベリ、ウブサラなどの主要な国境検問所での混雑緩和につながると同時に、新たな商業ルートの開拓や、トルコの地域物流ハブとしての地位の強化にも寄与すると述べました。

ボラット大臣は、世界貿易における物流の重要性が高まっていることを強調し、トルコの物流市場規模が1,000億米ドルに達し、輸出総額は424億米ドルで、世界第10位となっていると述べました。

また、同氏は、トルコが1996年からTIR制度に長年にわたり参加していることを強調し、2025年には43万8,000件のTIRカルネが処理されたと報告しました。

同大臣はまた、デジタル化、業務効率化、インフラ投資など、現在進行中の近代化への取り組みを、トルコの物流戦略の重要な柱として挙げました。また、環境・社会・ガバナンス（ESG）の基準に基づき企業を支援することを目的として新たに開始された「サステナビリティ・プロジェクト支援プログラム」についても強調しました。

ドゥルムシュ・ウヌヴァル副大臣は、過去23年間に3,000億米ドル以上が交通インフラに投資され、国内、地域、そして国際的なレベルでの接続性が向上したと付け加えました。

ボラット大臣は、新しいカプクレ検問所が、貿易の流れを加速させ、トルコと欧州市場との統合を強化するための戦略的な回廊としての役割を果たすだろうと結論づけました。





## Globalturk Capital が「2026 年トルコ投資見通し」会議を開催、世界各国の投資家がロンドンに集結

世界のプライベート・キャピタル業界のリーダーたちがロンドンに集結し、Globalturk Capital 主催の「2026 年 トルコおよび周辺地域における投資とプライベート・キャピタルの展望」が開催されました。このハイレベルな国際イベントでは、主要なステークホルダーが一堂に会し、トルコおよび周辺地域における投資動向や機会について議論を交わしました。

本イベントは、投資・財務局およびグローバル・プライベート・キャピタル協会（GPCA）との戦略的パートナーシップのもと開催され、世界中のプライベート・エクイティ・ファンド、投資銀行、多国籍企業、および国際ビジネス界から、各組織の幹部が集まりました。

このカンファレンスには 40 名の講演者やパネリストが登壇し、世界有数のプライベート・キャピタル機関や企業から約 250 名の経営幹部が参加しました。

会議の席上、トルコ共和国のジェヴデト・ユルマズ副大統領は、特別ビデオメッセージを通じて参加者に語りかけ、トルコ経済の現状、現在進行中の経済プログラム、および今後の政策の優先事項について見解を述べました。

さらに、メフメット・シムシェク財務大臣は演説を行い、世界的な不確実性の高まり、地政学的な情勢の変化、そして急速に変化する経済情勢の中で、トルコが確固たる地位と強靭さを維持していることを強調するとともに、今後数年にわたり、同国が引き続き大きな投資機会を提供し得る可能性を力説しました。

同会議で、投資・財務局の A・ブラク・ダールオウル局長は、トルコの対外直接投資（FDI）戦略について見解を述べ、主要セクターにおける高付加価値の投資機会について強調しました。

ロンドン証券取引所の CEO であるジュリア・ホゲット女史による挨拶に続き、グローバルテュルク・キャ

ピタルの創業者兼マネージング・パートナーであるバルシュ・オネイ氏による開会の辞が行われ、これらは世界の資本市場に関する貴重な洞察を提供するとともに、イベント全体を通じた議論の基調を築きました。また、この会議では、駐英国トルコ共和国大使のコライ・エルタシュ氏や、ロンドン市長代理のヴィンセント・キーヴェニー氏など、著名な方々による基調講演も行われました。

本イベントでは、パネルディスカッションを通じて、世界的なマクロ経済の見通しや資本流動、トルコおよび周辺地域におけるプライベート・エクイティ、プライベート・クレジット、ベンチャーキャピタルの動向、投資機会、参入・撤退戦略、イスタンブール証券取引所およびロンドン証券取引所における新規株式公開(IPO)の機会、さらにはベンチャーキャピタルやテクノロジー分野への投資など、多岐にわたる重要なテーマが取り上げられました。

会議で発表されたデータによると、トルコに対する国際投資家の関心は依然として高いことが確認されました。2025年、トルコへの外国直接投資(FDI)の流入額は約131億米ドルに達し、その約85%が不動産以外の投資で占められ、これは近年で最高水準の一つとなりました。



## トルコが「Powered by Türkiye」のビジョンを MIPIM 2026 に掲げる

トルコは、投資・財務局、エムラク・コヌト GYO、および不動産・不動産投資会社協会（GYODER）の協力のもと、「Powered by Türkiye」というメッセージを掲げ、フランス・カンヌで開催された世界有数の権威ある不動産見本市「MIPIM 2026」に参加しました。

MIPIM での活動の一環として、投資・財務局長の A・ブラク・ダールオウル氏は、世界の不動産業界をリードする機関や投資家と会談を行いました。展示会期間中、トルコとオマーンの経済関係および投資パートナーシップをさらに強化するための重要な会合が開催されました。アルタシュ・ホールディングのスレイマン・チェティンサヤ会長、セルハン・チェティンサヤ副会長、および投資・財務局長の A・ブラク・ダールオウル氏らからなる代表団は、オマーンの住宅・都市計画大臣であるハルファン・ビン・サイード・ビン・ムバラク・アル・シュエイリ氏と会談し、両国間の共同プロジェクトや投資機会について協議しました。

MIPIM の開催に合わせて行われたネットワーキング・イフタール・ディナーには、官民双方の主要な代表者が一堂に会しました。この夕食会には、サウジアラビア投資省次官補のファハド・アルハシム氏、投資・財務局長の A・ブラク・ダールオウル氏、トルコ共和国マルセイユ総領事のデルハン・ドアン氏、エムラク・コンウト社長のヤシル・イルマズ氏、および GYODER 会長のネシェジャン・チェキチ氏が出席しました。

MIPIM 2026 では、データセンターやデジタルインフラへの投資が、展示会の主要なテーマの一つとして際立っていました。人工知能やクラウド技術の急速な普及、そして世界的なデータ需要の高まりを背景に、この分野については、投資、エネルギーインフラ、都市計画の各分野における国際的なリーダーたちによって幅広く議論されました。

戦略的な交通網、強力な都市開発能力、そして拡大を続けるデジタル投資環境を背景に、トルコは「世界の結節点」としての地位をさらに強固なものとし、世界の投資家に対し、ダイナミックで強靱な投資環境を提供し続けています。





## 女性起業家と共に投資の未来を形作る

投資・財務局は、KADEM の「女性のためのイノベーション・プログラム」が主催した投資エコシステム会議に出席しました。この会議には、公共部門、投資部門、起業家部門の著名な方々が一堂に会しました。開会の辞は、KADEM 理事長のスメイエ・エルドアン・バイラクトル氏、投資・財務局長の A・ブラク・ダールオウル氏、および産業・技術副大臣のムハンメト・カシム・ゲヌル氏によって述べられました。議論は、投資エコシステムの将来、協業の機会、そして女性起業家の支援に焦点を当てました。

ダールオウル氏は演説の中で、トルコの起業エコシステムにおける女性の重要な役割を強調し、同国の 7 社の公式ユニコーン企業（「ターコーン」と呼ばれる）のうち 3 社が女性創業者によるものであり、これは世界平均の 40% を上回っていることを指摘しました。

さらに、投資・財務局のユニットマネージャーであるカーン・マサッチ氏は、「投資エコシステムはどこへ向かっているのか？」と題されたセッションにパネリストとして登壇し、世界の投資環境におけるトルコの位置づけや同局の役割について見解を述べました。

このイベントは、トルコの起業家エコシステムの形成と将来の成長を牽引する上で、女性が果たす極めて重要な役割を浮き彫りにしました。



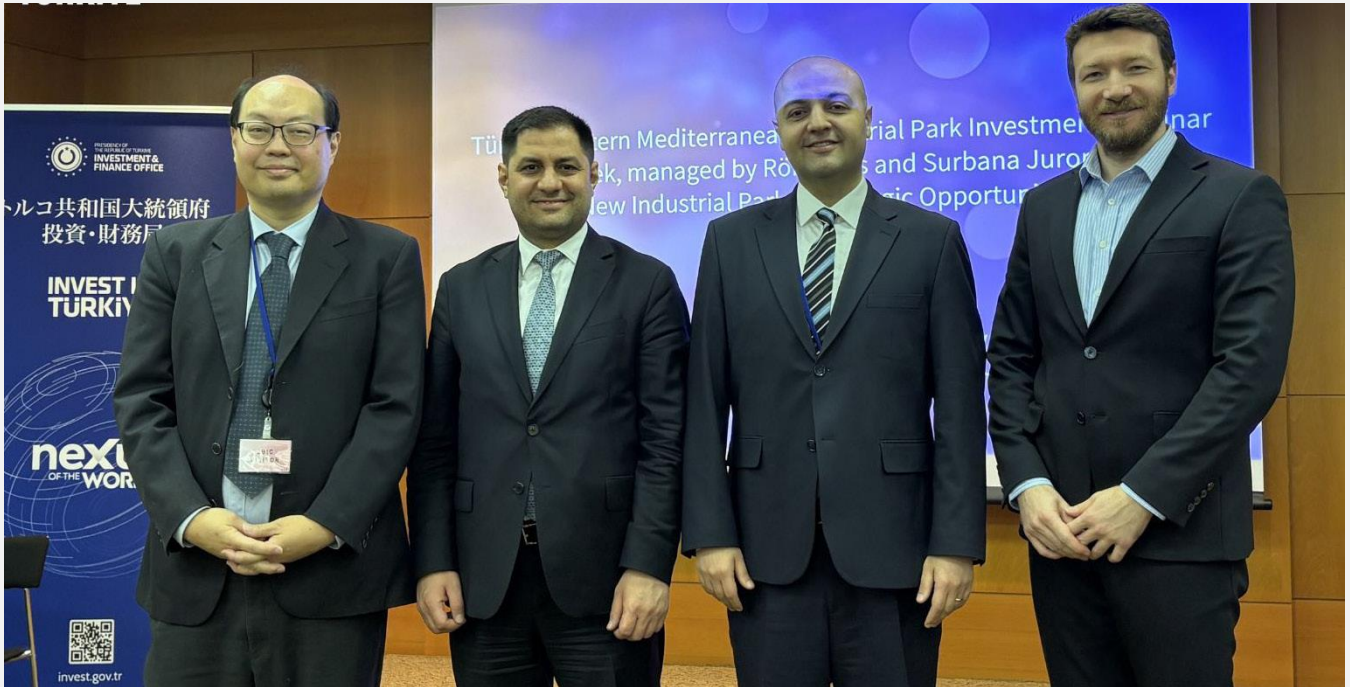
## トルコ投資会議：グローバルなパートナーシップの強化

INGグループが主催し、ハーグのトルコ共和国大使館の支援を受けて開催された「2026年トルコ投資会議」には、アムステルダムの投資・金融界の主要な関係者が一堂に会しました。

このイベントには、メフメット・シムシェク財務・財政大臣が来賓としてご出席されました。冒頭の挨拶は、駐ハーグトルコ大使のファトマ・ジェレン・ヤズガン氏と、INGグループCEOのスティープン・ファン・ライスワイク氏によって行われました。

投資・財務局のベキル・ポラト副局長が、「新たな世界経済を切り拓く：変化する地政学的状況におけるオランダとトルコのパートナーシップ」と題されたパネルディスカッションに参加しました。同セッションにおいて、ポラト氏は、トルコが金融の要衝としての立場にあることを強調し、地政学的な動向、サプライチェーンの変革とニアショアリング、世界的な競争、そしてエネルギー転換といった主要なテーマについて言及しました。

また、このプログラムでは、金融セクターおよび実体経済セクターの投資家による2つの円卓会議も開催され、トルコの各セクターの強みや投資機会を紹介する機会となりました。



## JBIC 東京でトルコの投資機会を紹介

東京にある国際協力銀行（JBIC）の本部にて、「トルコ東地中海工業団地（Dapek）」投資セミナーが開催され、ビジネスリーダーたちが一堂に会し、トルコにおける投資機会について検討しました。

セミナーでは、投資・財務局のユニットマネージャーであるザヒド・トゥンジェル氏が、トルコの投資環境と優遇措置の枠組みについてプレゼンテーションを行い、ヨーロッパ、北アフリカ、中東の交差点に位置する DAPEK 工業団地の戦略的優位性を強調しました。

このイベントでは、ネットワーキング・セッションや B2B ミーティングも開催され、日本企業とプロジェクトのステークホルダーとの対話を促進するとともに、トルコが投資の拠点としての役割をさらに強固なものにしました。



### トルコ、リーズで「クリーンな産業成長」ビジョンを強調

リーズで開催された「クリーン産業成長投資サミット 2026」において、投資ファンド、インフラ企業、先端製造業、および政策立案機関のトップリーダーたちが一堂に会し、クリーン産業への移行を形作る資本配分の優先事項について議論しました。

サミット期間中、投資・財務局のユニットマネージャーであるザヒド・トゥンジェル氏とカントリーアドバイザーのエネス・ギュゼル氏は、ハイレベル協議を通じてプログラムに貢献しました。

トゥンジェル氏は、「投資可能な市場の創出：各国がクリーン産業の成長に向けて資本を誘致する方法」と題したファイアサイド・チャットに参加しました。一方、ギュゼル氏は、「クリーン産業の成長の拡大：政策、資本、製造業の連携——トルコの事例研究」と題したライトニングトークを行い、クリーン産業への転換に向けたトルコの投資主導型のアプローチについて強調しました。

この議論は、トルコが持続可能性とバリューチェーンの結節点としての役割を強化し、国際的な資本動員を支援するとともに、地域全体でクリーンな産業成長を推進していることを浮き彫りにしました。



## トルコ、KEY Expo でイタリアとのエネルギー分野における連携を強化

リミニで開催された「KEY - The Energy Transition Expo」では、イタリアおよび国際的なエネルギーコミュニティから、エネルギー業界のリーダー、投資家、業界関係者が一堂に会し、再生可能エネルギーのビジネスチャンスや国境を越えた協力について議論を交わしました。

投資・財務局からは、カントリーアドバイザーのジーノ・コスタ氏とアルフレド・ノチェラ氏、ならびにプロジェクトマネージャーのラウフ・フラト・ヤシャル氏が出席しました。コスタ氏による開会の辞に続き、ミラノのトルコ総領事メフメット・オズオクテム氏が参加者に挨拶し、ノチェラ氏はトルコへの投資の戦略的意義について説明しました。

ヤシャル氏はまた、トルコの活気あるエネルギー市場について包括的な概要を説明し、拡大する再生可能エネルギーの発電容量と投資機会に焦点を当てました。

続いて、costacvconsultingのエネルギー専門家ジュゼッペ・パラディーノ氏が司会を務め、Vestel Mobilityの副社長エゲメン・トゥムトゥルク氏、IC Enterra Renewable Energyのゼネラルマネージャー、チェム・アシク氏、そしてItalia Solareの事務局長フェデリコ・ブルッチャーニ氏をパネリストに迎えたパネルディスカッションが行われました。この議論では、トルコとイタリア間の再生可能エネルギー分野における協力の可能性が高まっていることが検討されました。

この会合は、トルコが再生可能エネルギーとイノベーションの結節点としての確固たる地位を再確認するものであり、欧州のエネルギー・エコシステム全体における対話とパートナーシップを強化するものでした。



## トルコ、RailTech Europe 2026 で鉄道投資ビジョンを発表

「RailTech Europe 2026」では、業界のリーダー、技術プロバイダー、インフラ関係者が一堂に会し、鉄道のイノベーション、持続可能なモビリティ、そして鉄道システムの未来について議論を交わしました。

イベントでは、投資・財務局のプロジェクトマネージャーであるメフメット・ヤヴズ・ギュンギョル氏がパネルセッション「On-Track Innovation」に参加し、トルコの鉄道投資計画、グリーン・トランスフォーメーションの優先事項、そして国際輸送回廊における同国の役割の拡大について見解を述べました。

「ミドル・コリドー」沿いに位置するトルコは、2053年の交通目標の達成に向けて取り組みを進めつつ、鉄道網の拡充を続け、ヨーロッパと中央アジアの間の連結性を強化しています。投資機会は、電化貨物輸送ルート、環境に配慮した鉄道技術、次世代の保守システム、そして官民連携（PPP）に基づく鉄道・物流インフラに及びます。

こうした進展は、トルコがバリューチェーンの要としての地位を確固たるものにし、地域全体における強靱かつ持続可能な鉄道ネットワークを支えています。



## トルコ、イスタンブール PPP ウィークでインフラ分野の専門性をアピール

第 10 回「イスタンブール PPP ウィーク：繁栄に人間性を」では、世界中の PPP 関係者が一堂に会し、61 カ国から参加者が集まりました。政策立案者、投資家、金融機関、業界のリーダーらが集まり、ベストプラクティスの共有、連携の強化、そして革新的かつ持続可能な PPP ソリューションの提案が行われました。投資・財務局は、戦略的スポンサーとして本イベントに参加し、国際的な課題の形成においてトルコが果たす積極的な役割を強調しました。

「インフラ整備：すべきこと・すべきでないこと——インパクト・ファイナンス、スマートな規制、そして社会的遺産」と題されたパネルディスカッションで、投資・財務局の専門家であるオズカン・オズカルデシ氏は、インパクト・ファイナンス、規制の枠組み、そしてインフラプロジェクトの社会的価値について見解を述べました。

トルコは、投資とインフラの拠点としての地位をさらに強固なものにし、国際的な連携を推進するとともに、持続可能で変革をもたらすプロジェクトを育成し続けています。



### トルコ、ソウルにおける初期段階の投資機会を紹介

投資・財務局は、韓国のスタートアップと国際市場をつなぎ、地域間のイノベーション・エコシステム間の連携を促進するプラットフォームである、ソウルで開催された「PEN CTA グローバル・パブリック・アントレプレナーシップ・シンポジウム」に参加しました。

PEN-CTA (Commerce & Technology Association) が共催し、PEN Ventures が運営する本イベントは、スタートアップ、投資家、エコシステム構築者が一堂に会し、投資機会や国際的な連携の可能性を探る場となります。

同イベントでは、投資・財務局のカントリーアドバイザーであるタハ・サラン氏が、「初期段階の投資先としてのトルコ」と題したプレゼンテーションを行い、トルコで成長を続けるスタートアップ・エコシステムや、世界の投資家にとっての投資機会について強調しました。

このシンポジウムには、韓国および海外のベンチャーキャピタルファンド、アクセラレーター、起業家、公的機関、在外公館の代表者が一堂に会し、韓国のイノベーション・エコシステムとトルコ市場との結びつきをさらに強めるきっかけとなりました。



## トルコ、貿易・投資フォーラムで英国との経済連携を拡大

ロンドンのトルコ大使公邸にて、在トルコ英国商工会議所が主催した「トルコ・英国戦略的貿易・投資フォーラム」では、金融、研究、産業界の要人が一堂に会し、貿易、投資、そしてAIを活用した競争力における二国間協力の将来について議論を交わしました。

フォーラムは、駐英国トルコ大使のコライ・エルタシュ氏、トルコ英国商工会議所のクリストファー・ガウント O.B.E. 会長、およびスタンダードチャータード銀行英国法人 CEO のサイフ・マリク氏による挨拶で幕を開けました。

「トルコ・英国間の貿易、投資、技術回廊の強化」と題されたセッションにおいて、投資・財務局のカントリーアドバイザーであるエルソイ・エルカザンジュ氏は、著名なパネリスト陣に加わり、二国間の投資の流れを支える革新的な資金調達手段、デジタル時代に向けた英国・トルコ自由貿易協定の改定の重要性、そして技術、インフラ、グリーンファイナンス分野における官民パートナーシップの役割の拡大について、見解を述べました。また、同氏は、HIT-30 プログラムが、高付加価値の投資を誘致し、トルコの長期的な国際パートナーシップへの移行を支援する上で果たす戦略的な役割についても強調しました。

この議論を通じて、トルコが技術、投資、持続可能性の結節点であるという立場が再確認され、トルコと英国の間の経済協力がさらに深化することとなりました。



## トルコ、イスタンブールでプライベート・エクイティおよび M&A フォーラムを開催

「トルコ・プライベート・エクイティ・アンド・M&A フォーラム」がイスタンブールで開催され、EEL Events と投資・財務局が共催しました。本フォーラムでは、M&A、コーポレート・ベンチャー、そしてトルコの投資環境の将来に焦点を当て、世界中から著名な参加者が一堂に会しました。

フォーラムのサイドイベントとして、投資・財務局のユニットマネージャーであるカーン・マサッチ氏が、「セクター・スポットライトとクロスボーダー・ディールメイキング：投資家が資本を投じている先」と題されたセッションにパネリストとして参加しました。マサッチ氏はスピーチの中で、トルコへの外国直接投資に関する見解を述べ、同事務所が投資家とトルコとの架け橋としての役割を果たしていることを強調しました。

投資・財務局のアドバイザーであるアフメット・ジュネイト・セルチュク氏も、トルコの M&A およびプライベート・エクイティ市場について開会の挨拶を行いました。投資・財務局は、各分野の専門家からなるチームを通じて、世界有数のイベントにおいてトルコの活気ある外国直接投資 (FDI) のエコシステムを積極的にアピールし、同国を世界の結節点として位置づける取り組みを続けています。



## 投資・財務局、ブリュッセルでのワークショップで欧州の投資家と交流

「トルコにおける成長の機会に関するワークショップ」は、ユーロチャンプル・トルコ・EU ビジネス対話（TEBD II）プログラムの一環として、ブリュッセルのVoka - フランダース・ブラバント商工会議所が主催しました。

ワークショップでは、投資・財務局のカントリーアドバイザーであるエテム・トクギョズル氏が、トルコの投資環境における最新の動向について説明し、国際的な投資家にとっての新たなビジネスチャンスについて強調しました。

議論は、変化し続けるトルコとEUの貿易関係に焦点を当て、トルコが投資の拠点としての地位を強化することについて行われました。

ブリュッセルのトルコ大使館の支援を受けたこのイベントは、ネットワーキング・レセプションをもって幕を閉じ、参加者が意見交換を行い、絆を深める機会となりました。



## トルコ、英国のステークホルダーとインパクト投資の枠組みについて協議

投資・財務局は、インパクト投資諮問委員会と共同で、「インパクト・キャピタルの動員：新興投資ハブとしてのトルコ」と題したワークショップを共催しました。

投資・財務局のアドバイザーであるアフメット・ジュネイト・セルチュク氏がワークショップの冒頭で挨拶を行い、トルコがインパクト投資を2030年の目標達成に向けた強力な手段であると同時に、経済にもプラスの貢献をもたらすものと捉えていることを強調しました。

開会の辞に続き、EYDK 事務局長のトゥージェ・ソウト氏がワークショップの進行役を務め、EYDK 議長のシャファク・ムデリスギル氏、経済協力開発機構（OECD）大使兼トルコ常駐代表のエセン・アルトゥ氏、およびトルコ産業開発銀行（TSKB）のポイラズ・コアチョーグル専務副社長が登壇し、トルコが革新的な金融商品を通じて民間資本を動員し、規制および透明性の枠組みを強化している現状について見解を述べました。



### トルコ、米国のビジネスリーダーとの経済連携を強化

米国ニューイングランド地方の6州にわたる経営幹部、投資家、貿易専門家、政府関係者を結集する主要な非営利業界団体「Women in World Trade, New England (WWTNE)」は、国際貿易と投資に関する対話を促進するため、ボストンのトルコ総領事館にて会合を開催しました。

投資・財務局はハイレベル会合に参加し、ニューイングランドのビジネス界に向けて、トルコの投資環境と新たなビジネスチャンスについて紹介しました。

同局は、8,500万人を超える国内市場、多様化した産業基盤、若く熟練した労働力、高度な製造能力、そして国際的な投資を促進するために設計された体系的な優遇措置について概説しました。

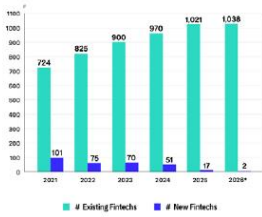
この会合では、トルコが欧州、アジア、中東を結ぶ投資、製造、貿易の要衝としての地位が強調されるとともに、トルコと米国の経済協力を深化させ、長期的な商業的関与の枠組みを拡大するための取り組みが強化されました。



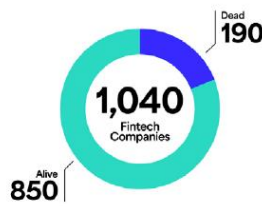
# Fintech Snapshot for Türkiye

## February 2026

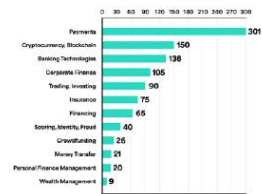
Fintech Companies



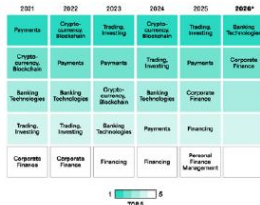
Startups.watch Data



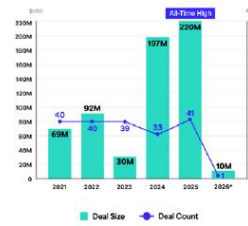
# Fintech Companies by Vertical



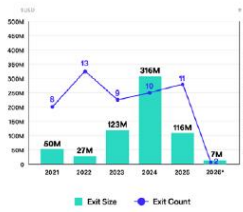
# Fintech Companies by Vertical and Year Founded



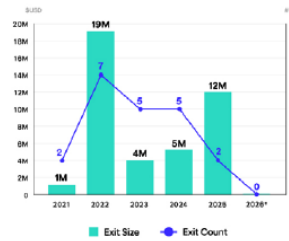
Fintech Angel & VC Deals



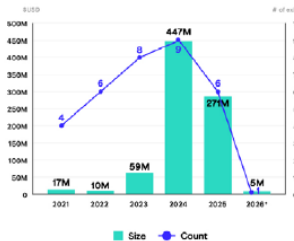
Fintech Exits



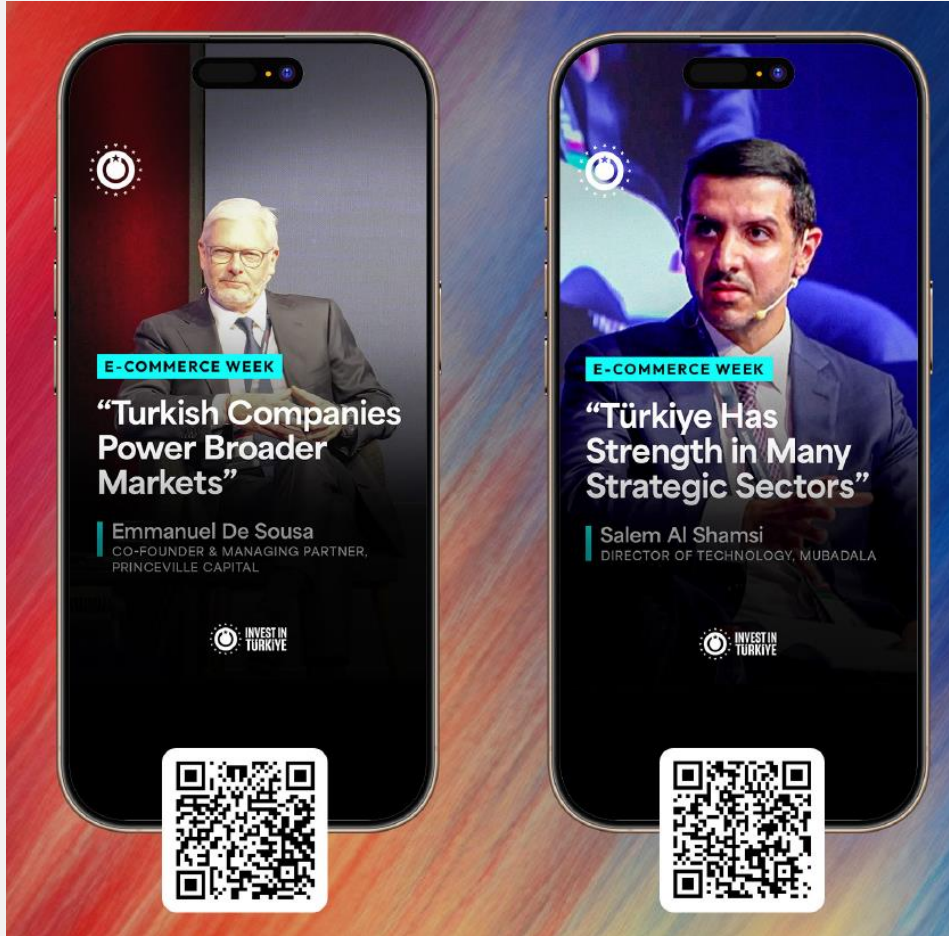
Deals Made by Turkish Fintechs\*\*



Acquisitions Made by Turkish Fintechs



Source: Startups.watch - February 2026 Report \*As of February 28, 2026  
 \*\* It shows the total amount of the deal size in which fintechs participated.  
 Check startups.watch for updates. Foreign ventures in Türkiye are excluded.



**E-COMMERCE WEEK**


**“Turkish Companies Power Broader Markets”**


Emmanuel De Sousa  
CO-FOUNDER & MANAGING PARTNER,  
PRINCEVILLE CAPITAL

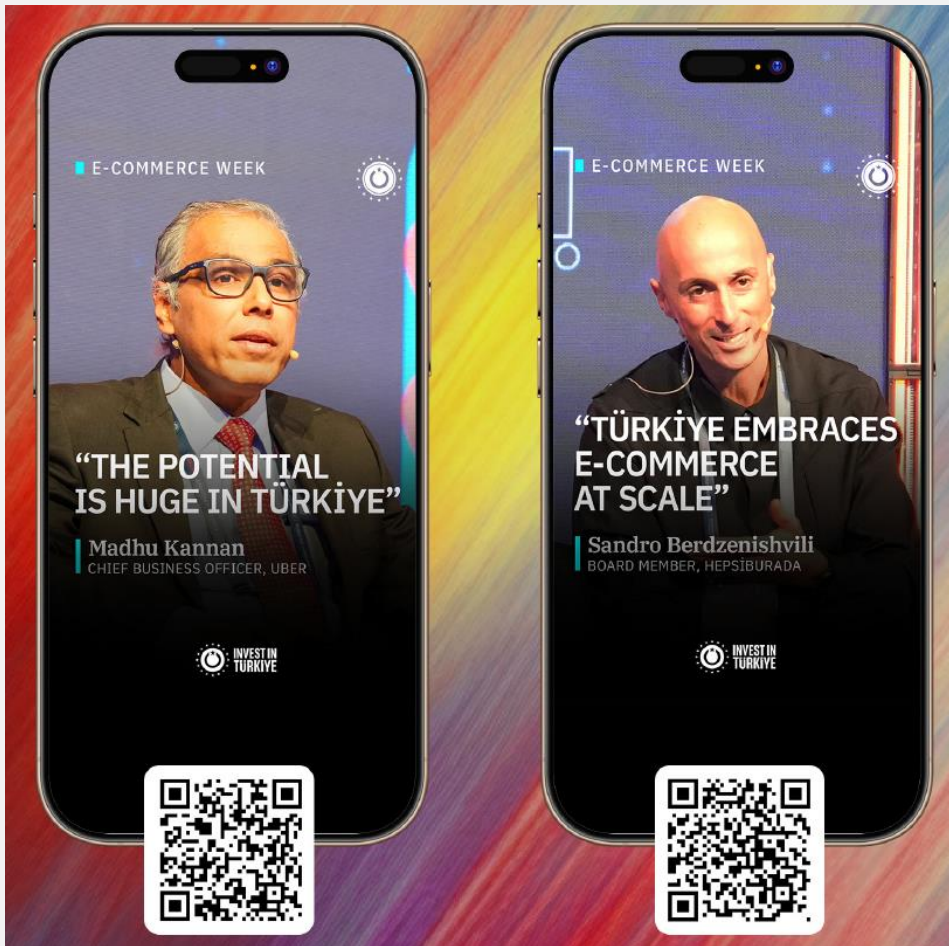
**E-COMMERCE WEEK**

**“Türkiye Has Strength in Many Strategic Sectors”**

Salem Al Shamsi  
DIRECTOR OF TECHNOLOGY, MUBADALA







**E-COMMERCE WEEK**

**“THE POTENTIAL IS HUGE IN TÜRKİYE”**

Madhu Kannan  
CHIEF BUSINESS OFFICER, UBER

**E-COMMERCE WEEK**

**“TÜRKİYE EMBRACES E-COMMERCE AT SCALE”**

Sandro Berdzenishvili  
BOARD MEMBER, HEPSİBURADA





# WHY TÜRKIYE

## TÜRKIYE: HUB FOR INNOVATION AND GROWTH

Within a 4-hour flight, easy access to multiple markets of USD 32.1 trillion GDP, USD 10.3 trillion trade, and 1.3 billion people.

Booming economy reaching **1,358 billion in 2024**, up from USD 238 billion in 2002.

Over **USD 288 billion** of FDI between 2003-2025, while the total amount of FDI attracted between 1980-2002 stood at USD 15 billion.

## ACCESS TO MULTIPLE MARKETS

### EURASIA

GDP: \$2.8 trillion  
Import: \$467 billion  
Population: 244 million

### EUROPE

GDP: \$24.9 trillion  
Import: \$8.3 trillion  
Population: 595 million

### MENA

GDP: \$4.4 trillion  
Import: \$1.5 trillion  
Population: 472 million

### TOTAL

GDP: \$32.1 trillion  
Import: \$10.3 trillion  
Population: 1.3 billion

Source: IMF, WTO, TurkStat 2024

# REAL GDP GROWTH

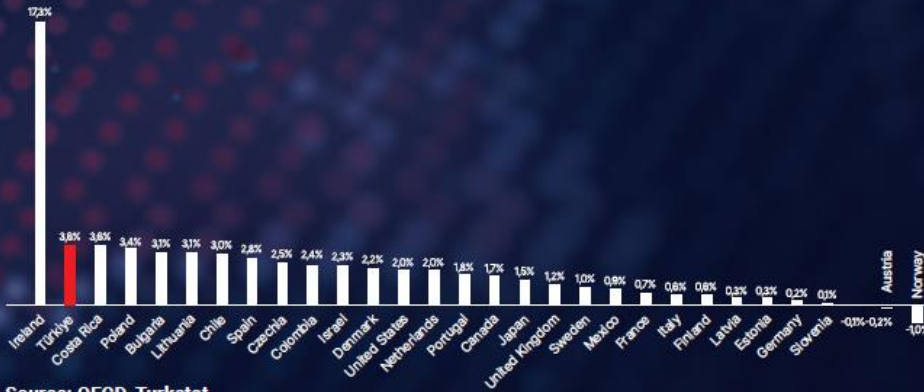
(2025-H1, year on year growth)

## G20 Economies



Source: OECD, Turkstat

## OECD Economies



Source: OECD, Turkstat

## TÜRKİYE

was the fastest growing economy of the OECD members during 2003-2025, with an average annual growth rate of

# 5.3%

## CUMULATIVE FDI INFLOWS TO TÜRKİYE

(USD BILLION)



Source: CBRT

- Investment incentives as well as R&D support.
- Equal treatment to national and global investors guaranteed by law.
- 7 days to set up a company in Türkiye, while it takes an average of 8,5 days in OECD high-income countries.
- (World Bank Doing Business 2020)

# HIGHLIGHTS

**The fastest growing economy in Europe and one of the fastest growing economies in the world with an average annual GDP growth rate of 5.3% over the past 21 years.**

(2003-2024, TurkStat)

## SOPHISTICATED CONSUMER BASE

**A population of 86.1 million, half of which is under the age of 34,9.**

(2024, TurkStat)

**Largest youth population compared with the EU.**

(2023, Eurostat)

**98.2 million fixed and mobile broadband internet subscribers.**

(2024, Information and Communications Technologies Authority)

## SKILLED AND DEDICATED LABOR FORCE

**Around 36 million young, well-educated and motivated professionals.**

(2024, Turkstat)

**Around 960,000 students graduate annually from 208 universities.**

(2024, CoHE)

# TÜRKİYE'S INFRASTRUCTURAL DEVELOPMENT

 **USD 215 Billion**

Total value of PPP contracts in Türkiye during the 1986-2024 period.

 **272**

Total number of PPP projects completed in Türkiye during the 1986-2024 period.

 **27,797**

Total number of hospital beds under PPP projects.  
18 healthcare campuses have been completed with a total number of 27,797 bed capacity.

 **58**

Number of airports in Türkiye increased from 26 in 2002 to 58 by 2024.

# Who we are

Investment and Finance Office is the official organization that:

- Promotes the investment environment of Türkiye and provides assistance to investors.
- Reports directly to the President of the Republic of Türkiye.

# How we help

- Multilingual (Turkish, English, German, French, Italian, Arabic, Spanish, Chinese, Japanese and Korean)
- One-Stop-Shop approach
- Result-oriented
- Private sector approach with full confidentiality
- Focusing on high-tech, value-added and employment generating investments.

# What we do

- Presenting investment opportunities to the investors and providing assistance during all the stages of their investments.
- Serving as the reference point for international investors and the point of contact for all institutions engaged in promoting and attracting investments at national, regional and local levels.
- Offering free-of-charge services including market information and analyses, site selection, B2B meetings, coordination with relevant governmental institutions, and facilitating legal procedures and applications such as establishing business operations, incentive applications, obtaining licenses and work permits.

## OUR GLOBAL LOCATIONS

	USA
	GERMANY
	ITALY
	SPAIN
	NETHERLANDS
	TÜRKIYE
	S. ARABIA
	UAE
	QATAR
	CHINA
	S. KOREA
	JAPAN
	UK
	SINGAPORE
	MALAYSIA

## SECTORS

Agrofood
Automotive
Chemicals
Defense & Aerospace
Energy
Financial Investments & Startups
ICT
Infrastructure
Life Sciences
Machinery
Business Services
Financial Services
Mining & Metals
Real Estate
Tourism



Explore untapped investment opportunities across a variety of industries in Türkiye.

# FOLLOW US



@InvestTurkey  
@InvestTurkiyeAR  
@InvestTR\_DACH  
@InvestTR\_JAPAN



@InvestTurkey  
@investinturkiyear  
@investinturkeyDE



@invest-in-turkey  
@investinturkiyear  
@investtrdach



@InvestinTürkiye



@investinturkiye\_en  
@investinturkiye\_ar



SUBSCRIBE

